

私は介護福祉学校に入学してから今までの成績は決して良くないですが、人一倍ボランティア活動に力を入れてきました。

ハサンベツ里山など、地元では体験できないボランティアがたくさんあり、年齢も考え方もさまざまな人たちと触れ合い、お話を伺いました。町民の方は初参加の私たちにも優しく丁寧で、「お疲れ」という言葉と共に頂いたジュースや、気さくに声をかけてくれる温かさがかうれしくて、いつの間にか学校で一番ボランティアに参加している学生になりました。

人や地域との関わりから、人生に大事なことをたくさん学べました。卒業まで半年ですが、これからも町の方と出会えるボランティアに参加したいと思っています。よろしく願います！



北海道介護福祉学校 2年 対馬 愛雪さん
(北海道根室高等学校卒業)

ボランティアをがんばっています！

バドミントン部は2年生10人、1年生4人で活動しています。バドミントン経験者は4人で、他の生徒は高校入学後に始めました。令和2年度からは、各種大会に出場しています。2部では上位入賞できましたが、1部ではまだ歯が立ちません。1部でも戦える力をつけたいと、11月の大会に向けて実戦練習に取り組んでいます。週末の練習には、OBの方が指導に来てくれることがあります。技術はもちろん、対戦相手との駆け引きなど、考えながらプレーする大切さを教わっています。

バドミントンのシャトルはお金がかかりませんが、保護者や学校の支援を受けてやってきました。バドミントンに真摯に向き合い、練習に励み、大会に全力で臨むことで、支援に応えたいと思います。



栗山高等学校 2年 飛澤おとはさん(長沼中学校卒業)

上位目指し練習に励む

保育所・認定こども園・児童クラブ

令和4年度
入所申込受付開始

令和4年度に新たに保育所・認定こども園・児童クラブに入所を希望する児童の申し込みを受け付けます。

◆受付期間
11月1日(月)～30日(火)

◆提出先・問い合わせ
町福祉課福祉・子育てグループ(窓口⑤番)
☎732222

※入所申込書などは提出先で配布しています。

【表1】町内の保育所

保育所名 (経営主体名)	住所・電話番号	定員	受入年齢
継立まつば保育園 (学校法人 松田学園)	継立 176 番地 29 ☎ 75-2032	30 人	生後 9 週～
マロンキッズ保育園 (学校法人 松田学園)	朝日 3 丁目 115 番地 20 ☎ 76-7258	19 人	生後 9 週～ 3 歳未満

【表2】町内の認定こども園(2・3号)

園名 (経営主体名)	住所・電話番号	定員	受入年齢
栗山いちい認定こども園 (社会福祉法人 水の会)	中央 3 丁目 309 番地 5 ☎ 72-1572	90 人	生後 9 週～
幼保連携型 栗山めぐみこども園 (学校法人 栗山立正学園)	錦 2 丁目 62 番地 ☎ 72-4914	30 人	満 1 歳～

【表3】町内の児童クラブ

クラブ名(地区名)	定員	開設時間
にじのこ児童クラブ1組(栗山)*	40 人	【月～金曜日】 下校時～18:30 【土曜日、夏・冬休み、学校休業日】 8:00～18:30
にじのこ児童クラブ2組(栗山)*	40 人	
マロンキッズ児童クラブ(朝日)	20 人	
どんぐり児童クラブ(角田)	20 人	
かぜのこ児童クラブ(継立)	20 人	

※栗山地区児童クラブ利用希望の場合は、定員を超えると待機になる場合があります。

●保育所(表1)
●認定こども園(表2)
◆入所条件
次のいずれかの理由で、保護者および同居の親族の方が家庭でお子さんを保育できない場合
①就労(フルタイム・パート・自営)
②妊娠・出産
③保護者や同居者の疾病・障がい

④就職活動
⑤その他
◆保育時間
○標準時間
午前7時半～午後6時半
(就労時間が月120時間以上の方)
○短時間
午前8時半～午後4時半
(就労時間が月64時間以上120時間未満の方)

◆申し込みに必要な書類
①入所申請書(町様式)
※第3希望まで必ず記入してください。
※入所希望の多い保育所・認定こども園は利用調整しますので、第1希望の保育所・認定こども園に入所できない場合があります。
②雇用証明書または、保育が必要な理由を確認できる書類

●児童クラブ(表3)
◆利用条件
昼間、保護者が仕事などではない家庭の小学1～6年生の児童が対象
◆申し込みに必要な書類
①児童クラブ利用申込書
②雇用証明書
③令和3年度の住民税課税(非課税)証明書
※令和3年1月1日に栗山町に住民登録のない方のみです。
◆保育料
4～8月は令和3年度9～3月は令和4年度の住民税額により算定

●児童クラブ(表3)
◆利用条件
令和3年度の住民税額により、5段階に分かれています。(傷害保険料は別途負担)
③令和3年度の住民税課税(非課税)証明書
※令和3年1月1日に栗山町に住民登録のない方のみです。

新しい力で栗山を元気に! 地域おこし協力隊です

くりやまのFMラジオを創ろう!

町の皆さん、はじめまして。この秋から町に移住して、栗山ライフが始まった、地域おこし協力隊コミュニティ放送局プランナーの深澤雅一です。

若いエネルギーが溢れる協力隊に、気持ちだけは20代のままの僕を迎えてくださって感謝の気持ちでいっぱいです。これから厳しい冬ですが、心の弱い僕はココが勝負。ぬくぬくしないように、雪の中に飛び込んでいこうと思っています。

例えば、小学校時代は放送委員として、皆を楽しませたい一心でマイクの前に。野球は大学まで硬式。草野球も50歳まではバリバリのピッチャーでした。人生一度なら楽しく生きようと思ひ、さまざまな仕事を経験しながら、平成10年の春からラジオの世界へ。令和4年で25年目になります。

必ず来る新ラジオ時代を信じて、大きな放送局ではなく、札幌、小樽、北広島などのコミュニティ放送局で、番組企画、制作、運営、そしてパーソナリティとしてやってきました。もちろん、皆さんの失敗も経験として、新しいスタートを切りました。

ラジオ局を一から始める・・・夢をずっと思い続けて、20年前から訪れ続けた町、大好きな栗山へ。ラジオを創る！まさに夢の実現になると思ひ、どこにもない、世界で一つの魅力あるラジオ局を皆さんと創っていきたいです。

町に何があって何が足りないか、たくさんの人と会って、初めての栗山の冬を一緒に歩きたいと思っています。見かけたら声をかけてくださいね！唄いながら歩いているかも・・・よろしくお願いします！

